



編集後記

- 2019年4月1日より、広島文教女子大学は共学化し、大学名も広島文教大学となりました。これに伴い、本学会も「広島文教大学 人間福祉学会」と名称変更しています。
- 今回が5回目の電子ジャーナルでの発行となります。皆様には広島文教大学人間福祉学会のホームページより閲覧いただいていることと存じます。ホームページ及び本紀要の存在について、是非多くの方々にお報せいただきますようお願いいたします。
- 本誌を発行できるのは、多岐にわたる学会の活動をお手伝いいただく会員の皆様と投稿者の皆様のおかげです。今回もご投稿をいただき、ありがとうございました。相変わらず年度末ギリギリでの発行となっておりますが、変わらず動きの遅い編集委員にお付き合いいただいた投稿者の皆様、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。論文だけではなく、これからはできる限り様々な表現方法に対応していきたいと考えております。「伝えたいことがある」、「皆に聞いてほしい、問いかけたいことがある」という方、ぜひ編集委員にご相談ください。また、内容にご意見等ありましたら遠慮なくお寄せください。
- 学科長による巻頭言にもありますように、コロナ禍の中、学会の開催方法や皆さんの声を受けとめ、私どもの思いを発信する手段が多様になってきています。これをチャンスと考え、学会員相互の連繋をより密なものにしていきたいと模索しています。
- 今年度は、人間福祉学会・人間福祉学会島根ブロック大会を開催することが叶いませんでした。次年度は、必ず皆さんとお目にかかることができるようにしたいと思っています。
- 2021年度より、社会福祉士・精神保健福祉士のカリキュラムが改正されます。社会福祉士の方では実習時間が60時間（本学は90時間）増えることになりました。卒業生の皆様には、是非実習指導者の講習を受講していただき、後輩をご指導いただきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。来年度は、本学科にとっては初めての男子学生が、社会福祉士の実習に赴く予定です。
- キャンパスの様子が変わり、大学周辺の道路や環境なども徐々に整備されてきています。しばらく足が遠のいていた皆様も是非一度足をお運びください。皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。
- （編集委員溝渕より）今年度で文教を離れます。編集が遅れに遅れることばかりで、大変ご迷惑をおかけしました。福祉は「実践」という形で表現することが優先されがちな分野だと考えています。しかしそれゆえに、本誌のような表現媒体は極めて貴重で、かつ重要であると考えてきました。ぜひ本誌を積極的にご利用いただければと思います。ありがとうございました。

広島文教大学 人間福祉学会

『人間福祉研究』編集委員（溝渕 淳 太原 牧絵）